

議 事 録

会 議 名	令和7年度第4回三芳町地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和8年2月10日(火) 10時00分開会 11時30分閉会
開 催 場 所	三芳町役場5階501会議室
主宰者氏名	三芳町地域公共交通協議会
出席者	林会長、板谷副会長、西内委員、忽滑谷委員、関根委員、内田委員、藤田委員、大和委員(代理)、田村委員(代理)、小谷野委員、山田委員、曾我委員、高橋委員、若林委員、井上委員、伊藤委員(代理) 三芳町循環ワゴン実証運行事業支援業務委託事業者 担当1名
欠席者	照井委員、古川委員、廣田委員
傍聴人	3名
事務局職員	政策推進室(室長、副室長、政策推進担当主査)
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 循環ワゴンの利用状況及び今後の方針について 4 その他 5 閉 会
結果	・第1号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・循環ワゴン「MIYO バス」に関するアンケート調査実施報告書 ・MIYO バス利用状況 ・三芳町循環ワゴン「MIYO バス」利用状況報告書 ・三芳町循環ワゴン「MIYO バス」実証運行事業の評価検証について ・MIYO バス実証運行方針について

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>第1号議案 循環ワゴンの利用状況及び今後の方針について</p> <p>第1号議案について、事務局及び三芳町循環ワゴン実証運行事業支援業務委託事業者（株式会社ケー・シー・エス）より説明を行った。</p>
委員	<p>アンケート結果の課題に逆回りルートがあったが、今後の方針として取り入れられていないのはなぜか。藤久保3区は駅まで徒歩15分かかる。役場を経由して駅に行くルートしかないため逆回りも検討してほしいという意見が多い。改善可能性が「○」になっているが実現できるのか。</p>
事務局	<p>10月から実証運行を始めたばかりであり、利用状況をしっかり把握していきたいところ。逆ルートを増やすことで現在1時間に1便のところ片側だけで見ると2時間に1便となってしまう。また片側1時間に1便を維持した状態で逆ルートを導入した場合、運行便数が倍となり経費がかかってしまうという問題がある。現在定着の時期であり、引き続き状況をみながら検討させていただく。</p>
委員	<p>逆ルートは費用も倍かかってしまい、難しいことは理解できる。三芳団地を利用しているが、行く際は早いが帰りは時間がかかってしまう。逆ルートについて良い案を検討してほしい。利用者が少ない便を乗務員の休憩時間のために減便するのはおかしい。休憩時間は実証実験前に検討すべき。実証実験中なのですぐに減便するのは時期尚早ではないか。</p>
事務局	<p>Aコースの第5便について、川越街道を渡り駅へ向かっていくというルートとなっているが、想定より時間がかかっている。同時に運行事業者からは従業員の休憩時間等適切な管理をしたいという要望が出ている状況。しかし今は定着の時期であり、すぐに減便というわけではなく、課題を検討していくものとして2つの案を提示している。今どちらかに決めるという段階ではない。</p>
委員	<p>MIY0バスの利用者はまだ少ない。交通審議会でもっと利用していただけるように検討していきたい。自転車の規制も厳しくなるので公共交通を使ってほしい。</p>
委員	<p>運行を開始してから課題が多数出てきている状況である。運行の上では安全が第一。乗務員の講習やヒアリングを行う中で、乗務員から北永井第2区集会所の危険性の指摘があった。敷地内で安全な移設場所を検討しているところ。町と連携し事故なく運行していくようにしたい。</p>

委員	<p>利用はしていないが、乗車率が少し少ないように思える。運行事業者の意見の通り安全対策が一番。今の停留所で乗降するポイントの見直しをし、安全最優先で検討してほしい。藤久保拠点施設へ商工会の会員が利用できるような足の確保となるよう期待している。</p>
委員	<p>公共交通機関として安全運転はもちろん、一般のドライバーにも気を遣っていただくようアナウンス、周知も必要。高齢者や車椅子、ベビーカーを利用する交通弱者へのケアもして頂きたい。バスが停まると他の交通に支障も出てくる。安全に乗降できない停留所では使えないということをアナウンスする必要もある。安全対策を引き続きお願いしたい。</p>
委員	<p>アンケート調査票の原本を資料として入れる必要がある。自由記述の中で回答しづらいという意見があったが、調査票がないとその内容が把握できない。</p> <p>町民全体と利用者向けのアンケートをまとめた形となっているが、乗っている方の意見を優先にしてほしいため結果はできれば分けてほしい。乗っていない方の意見は無茶が多い部分がある。</p> <p>運行乗務員の意見を優先に停留所の移設等対応してほしい。プロの感覚が重要である。場合によっては対応できないものもあるため注意して進めてほしい。俣埜については時間のロス、Uターン等の問題もあったためぜひ移設を進めてほしい。</p> <p>現段階での減便は好ましくないが、乗務員の休憩は必ずとってほしい。本格運行を検討していく上ではコースの見直しを検討しなければならない。その際、今ある停留所をすべて残す必要はない。停留所別の利用者数を地図上におとすことで利用者数の多寡を一目で把握することができる。上富地区については定時定路線型の交通ではニーズに合わせる事が難しいだろう。利用者が少ない停留所は通過や短縮させ、別コースの頻度を増やす。走らせなくてよいというわけではなく、MIY0バスとは別の方法を検討をするべき。以前行っていたデマンド型交通やタクシーチケットの配布など住民のニーズにあった検討をするべき。</p> <p>運賃の件について250円が高いという意見が多くあった。提供されるサービスに対し250円が高いと感じているためであり、本格運行の際には250円の負担感が軽減されるような提案をしていくべきである。乗り継ぎ券の発行は良い。他にも町民の割引率を上げる等の検討をして頂きたい。</p> <p>逆回りについて、やるかどうかは別として、1時間近くのルートで1方向だけの運行では利便性が高まらない。本格実施の際には1時間に1本の逆ルートも前向きに検討してほしい。そのためにはコースの集約も必要である。</p> <p>満車で来た場合のことを考えると乗車に躊躇する。乗車できなかった際の改善をしてほしい。積み残しの状況について知りたい。車内が狭く感じる。車椅子を乗せるのは他の乗客に対し影響が大きい。1便当たりの人数が大事で、乗車人数が5人ほどなら全員乗車できているが8人では乗車をあきらめている方が発生している可能性がある。丁寧に検証してほしい。</p> <p>遅れがなぜ発生するのか、事業者側で乗務員から聞き取り把握をしてほしい。改</p>

議長	<p>善可能なら対応していくという方向で進めてほしい。 土日、早朝、夜間の運行もニーズとしてある。考慮に入れ検討してほしい。</p> <p>第1号議案 循環ワゴンの利用状況及び今後の方針について、承認頂けるか。 〔異議なし〕</p> <p>4. その他 5 閉会</p>
----	---